



災害が発生したら

正確な情報を収集する

- 倒れやすいものから離れ、落下物に注意。
- むやみに動かず安全を確認。
- 非常口やドア等を開けて避難口を確保。
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に。
(火を扱っている場合は、身の安全を確認後火の始末)
- エレベーターを使用せず階段で避難。
(大学のエレベーターは地震が発生した場合、自動的に停止するシステムになっています。)
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動。
- 負傷者の救護や初期消火に協力。
- 家族との安否確認および大学へ安否連絡。

地震発生直後は裏面へ



大学への連絡方法 — 安否確認システムの活用 —

安否確認システムとは？

大地震が発生した際、皆さんの安否状況を大学へ連絡していただくものです。本学では「ANPIC (アンピック)」を用いた、安否確認システムにて運用しています。

大学への連絡方法

大地震発生後(※1)、「ANPIC(アンピック)」から、皆さんが登録したスマートフォン等の「個人メールアドレス」や「LINE」と、大学から付与された「専修大学 Gmailアドレス」宛てにメールが配信されます。ついでに、そのメールにリンクされている画面に安否状況を登録してください。

※1…「東京都または神奈川県」で「震度5弱以上」の場合

「個人メールアドレス登録」と「LINE連携」

学内ネットワークが停止した場合、「専修大学 Gmailアドレス」の利用が困難になる可能性があります。以下のQRコードを参考に初期登録を行い、「個人メールアドレス」の追加や「LINE連携」の設定をお願いします。

初期登録について(参考) ▶▶



日頃の準備

大地震の発生を防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認(大学付近および自宅周辺等)
- 家族との連絡方法および待ち合わせ場所の確認
- 災害用伝言サービスの確認と登録(メール宛先等の事前登録が必要)
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認(災害時徒歩 約 2.5 km / h)
- 緊急時メモの作成・記入
- 具体的な情報収集手段および緊急避難場所等の確認(大学および通学途中)
- 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- 大学および友人等への連絡方法の確認およびリスト整備

本マニュアルは専修大学のホームページよりプリントアウトできるので、ご家族にも事前にお伝えください。
<http://www.senshu-u.ac.jp/>

また、スマートフォン・携帯電話にも対応しておりますので保存してください。ただし、緊急時はスマートフォン・携帯電話の充電が切れることもあるので、ポケットマニュアルも合わせて携帯してください。
※インターネット接続時にパケット通信料がかかります。



緊急避難アイテム

日頃から準備・携帯しておく便利な物

- | | |
|--|--|
| ☐ 現金(小銭も) | ☐ 学生証(免許証なども) |
| ☐ 健康保険証 | ☐ アドレス帳
(家族、友人の連絡先を記入) |
| ☐ タオル・ばんそうこう・包帯 | ☐ 雨具(カッパなど) |
| ☐ 手回し充電ラジオ・ライト | ☐ スマートフォン充電用ケーブル |
| ☐ ティッシュ・ウェットティッシュ | ☐ ポリエチレン製ごみ袋 |
| ☐ 非常用保温アルミシート | ☐ 油性マジックペン |
| ☐ チョコレート・あめなど | |

その他非常時に必要なアイテム

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 貯金通帳 | ☐ 印鑑 |
| ☐ 常備薬とその処方箋 | ☐ 上着・下着・靴下・軍手 |
| ☐ 運動靴 | ☐ リュック |
| ☐ 卓上コンロ | ☐ 懐中電灯 |
| ☐ ひも・ロープ | ☐ マッチ・ろうそく |
| ☐ 予備電池 | ☐ 防災用ヘルメット・ずきん |
| ☐ スリッパ | ☐ 洗面用具 |
| ☐ 使い捨てカイロ | ☐ 非常食用食料・水 |

memo

※ 記入は油性のペンを使用してください。



社会知性の開発をめざす

専修大学



大地震対応 マニュアル

「災害時には、落ち着いて行動しよう」
「自分の命は、自分で守ろう」



SENSHU UNIVERSITY



家族への連絡方法

NTT災害用伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービス。

伝言の録音

伝言の再生



市外局番 電話番号 事前に記入しておきましょう

※被災地の方も、被災地以外の方も利用方法は同じです。

- 利用可能な端末 / NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話
- 蓄積伝言数 / 1電話番号あたり1～10伝言
- 録音時間 / 1伝言 30秒以内
- 伝言保存期間 / 2日間(48時間※自動消去)

事前の登録が必要です！(事前にテストをしてください)

携帯各社の災害用伝言板サービス

大規模災害時に携帯電話から安否確認(安否情報の登録)ができる災害用伝言板サービスです。

あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供されます。また、インターネットからも安否情報の確認が可能です。

各社の QR コードはこちら



- | | |
|--------|---|
| NTTドコモ | http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi |
| au | http://dengon.ezweb.ne.jp/ |
| ソフトバンク | http://dengon.softbank.ne.jp/ |

緊急時パーソナルメモ

氏名

学籍番号

学部

学科

緊急連絡先

住所

電話番号

持病 あり なし 常用薬 あり なし

アレルギー あり () なし ()

自宅近くの避難場所

家族との待ち合わせ場所

家族と共有しておきましょう

※ 記入は油性のペンを使用してください。

落ち着いたら②



POINT ▼



※悪天候は1時間早く暗くなります。